

事業名		平成 27 年度課題解決実証事業 「能登の課題解決プログラム事業成果の報告」
活動形態	活動場所	奥能登 2 市 2 町（輪島市、珠洲市、穴水町、能登町）、石川県庁など
	活動人数	金沢大学、石川県立大学、コロンビア大学、ユタ大学、国連大学 OUIK など 各教育機関の研究者及び学生
	期間	平成 27 年 6 月～平成 28 年 2 月
活動内容		<p><背景></p> <p>「能登キャンパス構想推進事業」が 6 年目以降も引き続き、より発展的、持続的な取り組みができることを目指し、これまで実施してきた平成 27 年度の 4 事業を振り返る。</p> <p><活動概要></p> <p>【国際化推進事業】</p> <p>能登をテーマに海外の大学、研究機関の研究者とワークショップを開催し、能登の情報を発信。留学生と日本人学生が地域文化体験や住民との交流を通して能登への理解を深めた。主な活動は「米国コロンビア大学建築学研究科による能登研修と交流」、「いしかわ情報書付学 in 能登」、「国際ジョイント・ワークショップ」である。</p> <p>【課題解決実証事業】</p> <p>2 市 2 町の移住者やUターン者を対象に、学生が聞き取り調査を行った。学生は事前に調査のノウハウをプロに学び、移住者の仕事場などを訪ねて地域で働くことの意義や思いをヒアリング。移住者の現状やニーズに関する情報を集め、行政への提案としてまとめた。</p> <p>【学生受入体制整備促進事業】</p> <p>ホームページ作成に取り組んだ。平成 23 年度から平成 27 年度まで実施された能登キャンパス構想事業の活動をデータベース化し、活動の「見える化」を図った。内容は能登キャンパス構想の概要のほか、各研究やプロジェクトの内容、奥能登の祭礼に学生が参加した時の様子が分かる形にした。</p> <p>【能登・祭りの環プロジェクト】</p> <p>金沢大学、石川県立大学、石川県立看護大学、金沢星稜大学の学生が中心となり、奥能登の祭りに参加。伝統の祭りに欠かせないキリコ灯籠を学生が担ぎ、その魅力を体感すると同時に過疎化により維持が年々難しくなる祭りの開催を支援した。対象となったのは、穴水町の「沖波大漁まつり」（8 月 14、15 日）、能登町の「矢波諏訪祭」（8 月 15、16 日）、輪島市の「黒島天領祭」（8 月 17、18 日）、珠洲市の「栗津の秋祭り」（9 月 12、13 日）で、学生が延べ 121 人、教員 12 人が参加した。</p>